

総 括

少子高齢化や核家族化の進展等、社会環境や生活環境の変容が叫ばれて久しく、法に基づく福祉制度については、必要に応じて次第に整備拡充が図られてきました。

しかしながら、身近な地域社会では法律だけで対処しきれない問題が発生しています。雇用の不安定による生活困窮や高齢社会の課題である要介護問題、一人暮らし高齢者の孤立、さらに高齢者や児童の虐待、振り込み詐欺等は、大きな社会問題となっています。

これらの背景には、人と人とのつながりの希薄化等が指摘されており、地域福祉を推進していくためには、住民の主体性と地域コミュニティの発展が重要であると考えます。

平成26年度事業においては、地域福祉協議会の活動充実を図るための協議、検討作業や、地域包括支援センターの複数化移行への対応、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の準備についても、地域社会福祉協議会、市行政及び関係機関との連携を密にして業務にあたりました。

I. 地域福祉活動計画の実践と新たな生活支援業務への取り組み

現行の「地域福祉活動計画」に添って、地域社会福祉協議会の充実・発展を目的にあり方検討会議を開催し、推進すべき活動、財政状況と助成金・配分金のあり方、役員・事務局体制、会費・社費・募金等の趣旨啓発等について、協議と検討を重ねました。

さらに、平成27年度より施行される「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者の相談対応や支援プラン策定を担う自立相談支援事業に対応すべく、市行政と協議を重ねながら準備作業を行いました。

II. 介護予防の推進と地域包括支援センターの複数化に向けた取り組み

高齢者に関する多様な問題に対処すべく、組織の充実及び質の向上を図り、在宅介護支援センターや個々の事業所等と連携し、介護、医療の相談事業に取り組むと共に介護予防事業、特にロコモ予防の普及啓発に努めました。また地域包括支援センターの平成27年度からの複数化に向けて、市行政及び関係機関との協議を重ねながら圏域毎に差異が生じることがないように準備、検討作業を行いました。

III. 介護保険事業所の適正経営

居宅介護支援事業所、訪問介護サービス事業所とも、実施主体としての責任を持ち、各種研修への参加など質の向上に努めながら、利用者の立場に立ったサービスの提供を行いました。

IV. 指定管理者制度対象施設の管理・運営

良好な環境整備、適切な管理・経営に努めながら、柔軟かつ効率的な運営を心がけ、総合福祉センターの運営を行いました。

事業概要

I. 地域福祉事業の推進

1. 地域福祉ネットワーク活動

(1) 地域社会福祉協議会の運営支援・活動充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあう「福祉コミュニティ」を実現するため、地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

なお、従来より開催している地域社会福祉協議会会議（3回）での情報提供や協議、地域社協の総会や行事等への参加、社協会費や共同募金収納の協力に加えて、新たに地域社協あり方検討会議を2回開催して、地域社協の組織や事業、財政等のあり方について、関係者で協議と検討を深めました。

地域社会福祉協議会連絡会議

- | | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回
(6月3日) | <ul style="list-style-type: none">・各種助成金及び配分金の交付について・天童市福祉推進員の委嘱について・地域社協関連事業の実施予定について・市社協会費、日赤社費の集金作業について |
| 第2回
(8月26日) | <ul style="list-style-type: none">・社協会費、日赤社費の集金実績、手数料について・共同募金地域在宅福祉配分金の申請について・地域福祉関連事業の実施予定について・共同募金、歳末たすけあい運動並びに配分金交付について・歳末たすけあい募金配分委員会の開催について・地域社会福祉協議会のあり方検討について |
| 第3回
(2月3日) | <ul style="list-style-type: none">・共同募金運動、歳末たすけあい運動の実績報告・次年度助成金及び配分金の交付予定について・地域社会福祉協議会あり方検討会議の報告について・福祉推進員の辞任者確認並びに後任者委嘱について・地域包括支援センター複数化について・生活困窮者自立支援法に係る相談支援事業について |

地域社会福祉協議会関係者研修会

「地域社会福祉協議会役員・事務局研修会」（2月3日）

- ・演題 私たちが安心して暮らし続けられる地域をめざして
- ・講師 東北公益文科大学准教授 武田真理子 氏
- ・参加者 40名

地域社会福祉協議会あり方検討会議

- | | |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回
(11月28日) | <ul style="list-style-type: none">・検討会議の趣旨について・検討会議の開催予定、協議結果の報告、反映について・地域社協の活動状況と推進すべき活動について・地域社協の財政状況と助成金、配分金のあり方について |
| 第2回
(1月14日) | <ul style="list-style-type: none">・地域社協の役員、事務局体制の状況と課題について・会費、社費、募金等の趣旨啓発や集金方法について・市敬老会、要配慮者避難支援計画の情報共有 |

(2)天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や民生児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う天童市福祉推進員の改選年度にあたり、市内に335名の方を委嘱して活動を支援しました。

また福祉推進員の情報交換や研修を担う市内13地域の「福祉推進員連絡会」では各地域社協と連携して研修活動、地域福祉事業を実践しました。

平成26年度末天童市福祉推進員委嘱状況（335名）

天童南部48名、天童中部81名、天童北部35名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山25名、田麦野3名、山口18名、高掬22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名

平成26年度各地域福祉推進員連絡会活動（抜粋）

「専門職講師による研修会」「福祉施設視察研修」「自治会長、民生児童委員意見交換会」「住民福祉研修会開催（ダンベル体操・健康講話）」「除雪ボランティア活動」「いきいきサロン、子育てサロンへの協力」「地域社会福祉協議会事業への協力」

(3)「いきいきサロン」事業の普及・充実

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や民生児童委員、福祉推進員等の支援を得て、58ヶ所で運営を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

また市社協事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

平成26年度末「いきいきサロン」開設状況（58ヶ所）

・町内会単位（53ヶ所）

三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区、久野本東3.4区、久野本東7区、久野本東9区、久野本東10区、久野本東12.13区、久野本東5.14.15区、久野本東16区、糠塚、柏木、泉町、東本町、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目、北久野本5丁目、天童原、大清水、大町、西交り江、今町、向原、成生、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、田麦野、道満、金谷、高掬北、清池、楯之内、にれの木団地、高掬1.2、石倉、上荻野戸、八千代台

・市立公民館単位（5ヶ所）

長岡（2ヶ所）、成生、寺津、荒谷

・一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン（54ヶ所）

平成26年度各いきいきサロン活動（抜粋）

- ・健康づくり ロコトレ活動、健康指導、血圧チェック、音楽療法、体操教室
- ・趣味活動（専門ボランティア等の指導）手芸、絵手紙、昔語り会、落語、交通安全講話
- ・各種行事等（茶話会、会食、花見、芋煮会、クリスマス、新年会、だんごさし）
- ・その他の事業（世代間交流、日帰りバス旅行、地区行事への参加）

平成26年度「いきいきサロン」への支援活動

- ・いきいきサロン連絡会議及び研修会「声の元気が身体の元気」（3月4日）
講師 森 功 氏
- ・講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）
- ・開設・運営の打ち合わせ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）
- ・自治会、民生児童委員、福祉推進員に対する啓発・資料発送（1月）

(4)子育て支援事業の実施

「母子寡婦福祉連合会」や「地域社会福祉協議会の子育てサロン」と協力しながら、親子の集いを開催、子どもたちの遊びの場づくりや親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

平成26年度母子寡婦福祉連合会共催事業

- ・「サマーレクリエーション」（7月21日）
内容 蔵王で遊ぼう 参加児童12名
- ・「親と子のクリスマスパーティー」（12月14日）
内容 クリスマスリース、キャンドル、ケーキづくり 参加児童10名

平成26年度「長岡地域社会福祉協議会子育てサロンりんごっこ」への助成

- ・毎月第2、第4木曜日開催（年24回）
内容 読み聞かせ、季節行事、遠足、お誕生会等

子どもの学習支援教室の開催

天童市在住の小中学生に対する学習支援を目的に、山形県退職公務員連盟東村山支部と共催して、学習支援教室を開催しました。

- ・夏休み学習支援教室（本市に避難している避難者世帯対象）
7月28日 午前9時～12時 参加児童4名
8月11日 午前9時～12時 参加児童6名
- ・冬休み学習支援教室（本市在住で学習に不安がある児童対象）
12月26日 午前9時～12時 参加児童17名

2. 相談援助活動

(1)ささえあい相談所の運営

法律・生活福祉・ボランティアの各種相談窓口を開設するとともに、市民からの多様な相談に対応できるよう、市民相談室他専門機関との連携を図り、機能の充実と周知を進めました。

平成26年度ささえあい相談所相談実績（延件数）

- ・法律相談47件
- ・生活福祉相談192件
- ・ボランティア相談29件

(2)「生活福祉資金」「たすけあい資金」の貸付・償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に、民生委員や行政と連携しながら、生活費、修学費用等の貸付を行いました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、相談会の開催や自宅訪問により生活状況把握や償還指導を強化しました。

平成26年度 相談件数192件

- ・生活福祉資金貸付状況
(生活福祉資金)
申請件数 14件（決定12件・不承認1件・取り下げ1件）

- 延貸付件数 127件（平成26年度償還完了10件・職権免除1件）
償還開始前件数 24件
- 順調償還件数 58件（直近で滞納回数1～3回）
- 滞納件数 生活状況把握 34件
1年以上連絡取れず 3件
- その他 8件（行方不明・債務整理や市外転居で県社協取扱い）

○償還指導

- 償還面接相談会 1件（11月26日）
- 面談日程変更 8件
- 訪問 26件（12月8日・10日・11日）
- 電話 1件

- ・たすけあい資金貸付状況

今年度貸付件数6件、償還完了8件、延貸付件数14件

(3)福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力が充分でない方や日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関・他制度と調整しながら、金銭管理、通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

平成26年度福祉サービス利用援助事業利用実績（平成27年3月31日現在）

- ・利用者15名（うち新規利用者2名）
- ・解約者1名（死亡）
- ・相談援助件数497件（うち新規相談件数9件）
- ・延訪問回数188回（生活支援員4名・専門員1名）
- ・支援内容 預金通帳・印鑑等の預かり、生活費等の払戻し、医療費等の支払い代行、口座振替等手続き、福祉サービス等の情報提供・申請支持

(4)避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、山形県内に避難されている避難者の方々の暮らしやすい環境づくりを図る「避難者生活支援」事業に取り組みました。

山形県社会福祉協議会の委託を受け、2名の相談員が避難者宅への訪問活動や、親子の集い等の企画・実施、市避難者支援サロン、NPO団体による親子サロンへの協力等を実践しました。

訪問活動実績

- ・訪問回数399回 面接回数200回
- ・訪問対象世帯46世帯（平成27年3月31日現在）

<避難者の集い（ちえつと寄れ茶～）開催実績>

- ・9月12日（12名） 11月20日（10名） 1月15日（10名）
3月13日（9名） 延41名（大人33名・子ども8名）
- ・内容 地元のお菓子と飲み物を用意してお茶会を楽しむ

<ランチ会（食事づくりを通じた仲間づくり）開催実績>

- ・7月11日（24名） 10月31日（10名） 12月18日（9名）
2月27日（11名） 延54名（大人49名・子ども5名）
- ・内容 ピザづくり、いも煮会、アイシングクッキーづくり、大福づくり

＜関係機関との連携・協力＞

- ・天童市避難者支援サロン（４月～８月 毎月第１・第３水曜日 １０時～１２時）
- ・福島県避難者支援課駐在員（９月～３月 毎月第３金曜日 １３時～１５時）
- ・天童市危機管理室（月１～２回）
- ・ひと麦の会、全国有機農法連絡会（ランチ会開催時）

3. 社会福祉啓発と人材育成

(1) 社会福祉協議会だより発行

社会福祉協議会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域話題を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。

平成26年度「社会福祉協議会だより」発行状況

- ・6月15日号 事業計画、収支予算、福祉推進員紹介、ボランティアセンター紹介、ふれあいまちづくり講座他
- ・10月1日号 共同募金運動啓発、健康福祉まつり、はつらつ介護予防教室、地域包括支援センター紹介他
- ・1月15日号 社会福祉功労表彰受賞者、災害ボランティアセンター設置訓練、居宅介護支援事業所紹介、訪問介護サービス事業所、介護支援ボランティア、福祉施設ボランティア募集他
- ・3月15日号 共同募金運動、歳末たすけあい募金の報告、のぞみ学園入園案内、福祉サービス利用援助事業紹介、同好クラブ案内他

平成26年度「社会福祉協議会広報パンフレット」発行状況

- ・社会福祉協議会会費説明会時（7月）に配付

(2) 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2014」の企画・開催

福祉や医療の関係団体、市や本会職員による事務局会議を開催して、企画立案を行い、健康センター及び総合福祉センターを会場に市民の健康と福祉の祭典にふさわしい、誰もが楽しく参加できる多様なコーナーを開設しました。

「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2014」開催状況

- ・日 時 10月11日（土） ※文化祭は9日（木）10日（金）も開催
- ・会 場 市総合福祉センター、市健康センター
- ・参加者 約816名（福祉センター分・文化祭出展者含む）
- ・内 容 <総合福祉センター会場>
社会福祉功労者表彰、福祉のまちづくり講演会「みんなが安心して暮らせるまちづくり」、芸能大会、縁日広場、マッサージ体験コーナー、福祉団体ボランティア紹介コーナー、文化祭
<健康センター会場>
ヘルスチェックコーナー、薬の相談、食生活改善コーナー、大腸がんクイズラリー、子どもの遊びの広場

「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2014」事務局会議開催状況

- ・期 日 7月15日、8月7日、9月26日
- ・参加者 市社会福祉課、健康課、子育て支援課、市社会福祉協議会職員

(3) 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を経て、健康福祉まつり開会式の機会に表彰を行いました。

- ・天童市社会福祉功労者表彰 10月11日(土)
- ・社会福祉功労者表彰受賞者 17個人 1団体

(4)ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録、派遣を行いました。また、広報誌に掲載し、講座の周知や講師の人材発掘に努めました。

平成26年度活動状況

- ・登録講師 個人、団体 28講師
(健康講話・音楽療法・点字、手話指導・折り紙・絵手紙・軽体操・昔語り・マジック・大道芸・血圧測定他)
- ・派遣実績 いきいきサロン、地域社協、小学校、老人クラブ等 53件

4. ボランティア活動の育成

(1)福祉教育活動の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。

平成26年度「福祉のこころ実践校事業」活動事例

- ・福祉のこころ実践校活動 16校(小学校12校、中学校4校)
「地域の福祉施設での交流活動」「高齢者疑似体験」「点字・手話の学習」
「共同募金活動」「地域行事のボランティア活動」「高齢者等との異世代間交流」
- ・小学校、中学校総合学習への対応
福祉教育の相談対応 2件(事業内容相談・車イスの貸出)

(2)ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、ボランティア講習会の開催や社協だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。

平成26年度ボランティアセンター活動状況

- ・ボランティア登録 53団体9個人
- ・ボランティア相談対応
 - 周知、活動依頼 16件
 - 活動希望 9件
- ・ボランティア団体への支援
 - ボランティア団体活動費助成事業の実施 4件
 - ボランティア室の設置、ロッカー貸出し
- ・市民へのボランティア活動周知・啓発
 - 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2014」
 - ボランティア紹介コーナー 11団体参加
 - 社協だよりへボランティア団体紹介記事を掲載

(3)介護ボランティア支援事業の実施

本格的な高齢社会を迎える中、高齢者が取り組む介護ボランティア活動にポイント制を導入することにより、より多くの高齢者にボランティア活動を実践していただき、高齢者の地域貢献や社会参加の促進、健康の保持や介護予防を図りました。

平成26年度登録福祉施設 7ヶ所

- ・「特別養護老人ホーム明幸園、特別養護老人ホーム清幸園」
- ・「特別養護老人ホームあこがれ、介護老人保健施設あこがれ」
- ・「介護老人保健施設ラ・フォーレ天童」
- ・「通所介護事業所つるかめ、となりのつるかめ」
- ・「通所介護事業所、認知症対応型共同生活介護サポートハウスふぁみりー」
- ・「通所介護事業所くわのまちデイサービス」
- ・「認知症対応型共同生活介護ハートステーション西原」

平成26年度末活動登録者 延37名（男性21名・女性16名）

- ・活動内容 話し相手、相談相手、趣味活動指導、園芸活動、美容指導等

(4)災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成23年度に作成した災害ボランティアセンター設置マニュアルをもとに、行政や県社協、地域社協、青年会議所、NPO等と協力して、有事に備えて災害ボランティアセンター立上げまでの協議やボランティア活動支援の訓練を実施しました。

事前打合せ 9月4日

- ・参加者

危機管理室、青年会議所、ボランティア団体、成生地域社会福祉協議会

災害ボランティアセンター設置運営訓練実施 10月5日（土）

成生地域において開催された天童市総合防災訓練の一環として実施した。

- ・訓練内容

○情報収集、伝達

○設置訓練（マニュアルや被害想定を基に組織編成や人員配置等の検討、災害VC立上げ）

○オリエンテーション（災害VCとは・ボランティアの心得）

○運営訓練（受付班・マッチング班・報告受付班・ニーズ班）

○災害VCの周知（参加者へチラシ配布）

- ・参加者

青年会議所、成生地域社協（会長・民生児童委員・福祉推進員）、NPO団体、ボランティア団体、天童高校生徒、県社協職員、市社協職員 計30名

II. 共同募金活動

1. 一般募金・歳末たすけあい運動への協力

山形県共同募金会天童市支会として積極的な共同募金運動を展開しました。活発な広報活動の結果、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。

平成26年度共同募金運動実績（募金総額8,357,717円17,252件）

- ・戸別募金 7,092,720円（15,793件）
- ・学校募金 187,723円（13件）
- ・法人募金 918,803円（139件）
- ・職域募金 150,366円（1,304件）
- ・個人募金等 8,105円（3件）

2. 歳末たすけあい運動の配分

歳末たすけあい配分委員会担当者会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適

正な配分のあり方等を検討し、各地域の配分対象基準の平準化、適正は配分を実施いたしました。

平成26年度歳末たすけあい運動実績（募金総額4,879,521円15,791件）

・戸別募金 4,810,150円(15,788件) ・篤志寄付金 69,371円(3件)

平成26年度歳末たすけあい運動配分実績（配分総額4,879,521円868件）

・要支援世帯 1,351,500円(286件) ・在宅の寝たきり老人 46,000円(7件)
・単身老人 741,500円(108件) ・老人夫婦世帯 163,000円(22件)
・母子家庭 834,500円(158件) ・父子家庭 26,000円(3件)
・在宅の長期療養者 98,500円(17件) ・在宅の重度障がい者 142,000円(18件)
・準要保護家庭児童生徒 1,199,500円(217件)
・各地域福祉事業 58,150円(8件) ・施設配分金 50,000円(1件)
・その他 149,500円(22件) ・社会福祉協議会地域福祉事業 19,371円(1件)

歳末たすけあい配分委員会担当国会議開催状況

・9月26日 各地域歳末たすけあい配分委員会担当者参加

歳末たすけあい配分委員会開催状況

・12月9日～11日 地域毎に開催（13地域）

配分委員会委員内訳

・地域社会福祉協議会、民生委員・児童委員、町内会、福祉推進連絡会、婦人会、小学校、中学校、市立公民館他

Ⅲ 地域包括支援センター運営

1. 総合相談支援事業

(1) 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人やご家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連絡を図りワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

- ・相談件数 延1,813件
 - 介護保険関係、ケアマネ紹介、申請代行 726件
 - 医療との連携及び退院支援について 240件
 - 困難事例（①～⑧） 332件
 - ①認知症高齢者世帯 90件
 - ②精神・知的・身体障害者等家族世帯 102件
 - ③経済的困難 48件
 - ④家族・親戚からの支援困難 28件
 - ⑤支援受入拒否 37件
 - ⑥地域からの孤立 13件
 - ⑦利用できる施設の不足 6件
 - ⑧家族の介護不足 8件
 - 虐待 10件
 - 虐待の可能性 27件
 - 成年後見人制度の活用、財産、遺言関係 42件
 - 消費者被害 22件
 - その他 414件

- ・受付形態別件数 1,272件
○電話701件 訪問275件 来所296件

(2)地域におけるネットワークの構築

(3)在宅介護支援センターとの連携

地域社協の研修会への協力参加及び地域においての高齢者見守り活動についての意識啓発に努めました。

- ・天童市在宅介護支援センター連絡会（月1回）
- ・グループホーム等運営推進会議（8ヶ所 年6回）

(4)包括支援センターニュースの発行等の広報活動

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に民生委員、福祉推進員、関係機関（行政、交番、駐在所、医療機関）公共機関（行政窓口、公民館等）介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

- ・天童市地域包括支援センターニュースの発行 年2回（12月・3月）

2. 包括的・継続的マネジメント事業

(1)地域ケア会議の開催

個別の検討を中心としたケア会議の開催に努めました。

- ・ケア会議等の開催 16回
※地域包括支援センター複数化に向けた検討会も開催

(2)主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、天童市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議の開催に努めました。

(3)介護支援専門員連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会の開催支援を行いました。

○天童市主任介護支援専門員会議の開催

月 日	内 容
4月15日	第1回 年間計画と役割分担
5月13日	第2回 7月開催の研修会（第1部）の運営について
6月24日	第3回 7月開催の研修会（第2部）の運営について ※担当者打合せ 6月
8月12日	第4回 9月開催の意見交換会の内容及び運営について ※担当者打合せ 6月
10月7日	第5回 10月開催の研修会の運営について 天童市東村山郡医師会合同研修会について
1月20日	第6回 2月開催の介護保険制度改正の勉強会について
2月 3日	第7回 27年度の年間計画（案）について
3月19日	第8回 27年度の年間計画と役割分担

○天童市介護支援専門員連絡会の開催

月 日	対 象	内 容
4月22日	介護サービス事業所 職員89名	新体制紹介及び天童市の介護状況について 天童市における高齢者虐待の状況報告
7月16日	介護サービス事業所 職員77名	緩和ケアについての講演（第1部）
7月29日	市内介護支援専門員 45名	緩和ケアの在宅療養支援について（第2部） 事例発表及び基礎知識
9月18日	市内介護支援専門員 37名	地域医療連携室の役割について 基調講演及び意見交換会
10月15日	介護サービス事業所 職員85名	モニタリング目的と効果的な手法について
12月11日	介護サービス事業所 職員79名	天童市・天童市東村山郡医師会との合同研修会 在宅医療・在宅介護の連携について
2月17日	市内介護支援専門員 40名	平成27年度介護保険改正と介護報酬改定の概要についての勉強会

(4)介護サービス事業所連絡会の開催

介護支援専門員との連携の強化を目的に介護サービス事業所連絡会の開催を支援しました。

(5)医師会との合同研修会の開催

医療と介護の連携強化を目的に毎年天童市東村山郡医師会との合同研修会を定期開催している。今年度は12月に天童市・天童市東村山郡医師会と合同で「在宅医療と在宅介護の連携」についての研修会を開催しました。

3. 権利擁護事業及び認知症対策の推進

(1)認知症理解の啓発

一般市民及び専門職等を対象に認知症の理解促進を働きかけました。

- ・市、警察、地域等からの依頼による認知症サポーター養成講座の開催支援（7月2回81名・8月4回235名・9月4回247名）
- ・社協だよりによる啓発活動

(2)消費者被害の防止対策の推進

- ・地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年2回）
- ・天童市消費生活センター等からの情報を関係機関への提供の実施（随時）
- ・はつらつ介護予防教室における消費生活講座の企画運営（8月開催）

(3)成年後見人制度、サービス利用援助事業の周知

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。今年度においては、精神・知的・認知症等の家族の方の相談対応が目立ちました。

- ・成年後見人制度申立支援2件
- ・サービス利用援助事業支援2件
- ・はつらつ介護予防教室における成年後見制度講座の企画運営（12月開催）

(4)虐待通報への対応

虐待の疑いの相談内容を行政担当者に連絡すると共に対応の協議を図りました。6月には虐待事案にケース分離のための緊急ショートに対応を行いました。また虐待等の通報の受付、内容の確認、実態把握の迅速化をめざし対応しました。

4. 介護予防マネジメント事業

(1)一次予防、二次予防対策の推進

全戸配布の「基本チェックリスト」の回収結果に合わせて、運動器等に不安のある高齢者を対象に予防通所事業への参加勧奨に努めました。

- | | |
|---------------------------------|------|
| ・ コツコツ貯筋運動教室（運動器機能向上事業） | 35名 |
| ・ からだ湯ったり楽しく教室（運動器機能向上・閉じこもり予防） | 55名 |
| ・ 二次予防対象高齢者実態把握訪問実績 | 268名 |

(2)はつらつ介護予防教室の開催

一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し運営に努めました。

今年度もロコトレの集団介入の手法により、転倒予防についての積極的な企画と運営に努めました。

(3)ロコモ体操推進サポーターの養成等

はつらつ介護教室による「ロコモ予防」の普及啓発を図ると共にいきいきサロン等におけるロコモ普及啓発に努めた。（いきいきサロン16回）

5. 指定予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサービスの利用のためのケアプラン作成を行います。また、居宅支援事業所との連携を図り、要支援・要介護の円滑な支援に努めます。

(1)給付管理の適正化

要支援1・2の認定を受けた方に対して、利用者や家族との目標を設定し、適切な介護予防プランを作成・評価に努めました。

(2)業務委託環境の整備

要支援1・2の認定を受けた利用者状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方については、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

○予防プラン作成及び委託件数

- | |
|----------------------------------|
| ・ 件数5, 423件（本会3, 647件 委託1, 776件） |
|----------------------------------|

IV. 介護サービス事業所運営

1. 天童市居宅介護支援事業所の運営

(1)介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業所の実施

法令の定めに基づき、要介護者のケアプラン作成件数や予防プランの適切な件数を担当し、特定居宅介護支援事業所の指定の維持を図り、質の高い支援の提供と業務の管理体制を整備しました。

- | | |
|--------------|--------------|
| ・ 居宅介護支援905件 | ・ 予防介護支援153件 |
|--------------|--------------|

(2)介護保険に関する各機関との連絡調整、及び手続き代行

病院からの退院や施設からの退所時の受け入れ体制を整え、在宅に戻る高齢者の円滑な支援を目指すと共に、地域包括支援センターをはじめとする関係機関と連携を図

り各種研修会へ参加し、利用者に資する支援に努めました。

- ・事業所内会議の実施 週1回
- ・打ち合わせ 全日
- ・研修会への参加 15回

(3) 要介護認定調査事業

介護認定の円滑な更新を目指し、担当する利用者の認定更新申請代行を適切に行うとともに、利用者本人の状況を正確に反映する認定調査に努めました。

- ・天童市内 96件

2. 天童市訪問介護サービス事業所の運営

(1) 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標の実現に資するサービス提供を目指し発生する業務の管理体制の整備を図りました。また、提供する介護サービスの質の向上のため、処遇改善加算の実施及び訪問介護員の介護技術を高めるための研修を実施し、毎日の打ち合わせ等を行い、利用者の情報の共有を図りました。

- ・利用者延べ件数 653件
- ・要支援 416件
- ・要介護 237件

(2) 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者個々のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を目指すために、変化する制度の対応した業務管理体制の整備を図りました。

- ・利用者延べ件数 175件
- ・実契約数 16件

(3) 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

市からの委託事業として目に障がいのある方を対象に、地域活動や社会参加の実現のため契約内容に基づき適正な移動を支援する事業を実施しました。

- ・利用者延べ件数 72件
- ・実契約数 9件

(4) エンゼルサポーター派遣事業の実施

双子以上を養育している保護者に対し、個々の養育方針を受け止め支援することにより、安心して子供を産み育てられる環境、“親子のふれあい”を確保できる環境づくりの援助に努めました。

- ・利用者延べ件数 44件
- ・実契約数 4世帯

(5) まごころ支援事業(自主事業)の実施

介護保険、障害福祉サービス事業で対応できないサービスを本会の自主事業として補うことにより、利用者のニーズに密着したサービス提供を行い、安心して地域生活が続けられる支援に努めました。

- ・利用者延べ件数 27件
- ・実契約数 3件

(6) 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

実習生の受け入れの実施

- ・山形県立天童高等学校 前期実習生 18名 後期実習生 12名

(7) その他、利用者及び地域との連携強化

利用者との信頼強化のために、年賀状の送付に加え、地震や災害時の安否確認のた

めの地域における連絡票の整備や、大規模災害時緊急マニュアルを作成し、避難場所の確認を順次行いました。

V. 受託施設等の管理・経営

1. 天童市総合福祉センターの管理・経営

施設の良い環境整備、適切な管理・経営に努め、また利用については、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に利用いただけるよう効率的な貸出と経営に努めながら、災害時には避難所等として利用いただけるよう太陽光発電システムの設置を行いました。

天童市総合福祉センター管理・経営状況

- ・福祉関連の事業、団体を優先した貸出実施
 - 福祉関係団体の使用申込みは使用日の前々月の最初の開館日、福祉関係団体以外は使用日の前月の最初の開館日
- ・抽選による受付実施
 - 毎月1日（平成27年1月のみ5日）午前8時40分から抽選会実施
- ・施設の良い環境整備
 - 施設の見回り（全日）や定期清掃及びワックス（月1回）、太陽光発電システムの設置
- ・同好クラブ事業の内容充実
 - 囲碁クラブ（週2回）、コスモスダンスクラブ（週1回）、手芸クラブ（月1回）、俳句クラブ（月1回）、将棋クラブ（週1回）、民謡クラブ（月2回）
- ・経費の節減
 - 冷暖房や電灯等の適切な調整、管理

平成26年度天童市総合福祉センター利用状況

- ・利用団体数 3,869団体
- ・利用人数 55,941人

VI. 法人組織の管理・運営

定期的な理事会、評議員会の開催、監事による監査の実施により、法人組織の適正な管理、運営に努めました。また職員の研修会等への参加により、職員の資質向上に努めました。

1. 理事会、評議員会の開催

- ・理事会（5回）
 - ①平成26年4月 1日 ②平成26年5月27日 ③平成26年9月30日
 - ④平成27年1月27日 ⑤平成27年3月24日
- ・評議員会（3回）
 - ①平成26年5月27日 ②平成26年9月30日 ③平成27年3月24日

2. 監事による監査の実施

- ・ 内部監査（2回）
 - ①平成26年 5月15日<決算監査>
 - ②平成26年11月13日<中間監査>
- ・ 外部監査（1回）
 - ①平成26年11月10日<社会福祉法人に対する一般指導監査>

3. 職員の資質向上のため、各種研修会への参加

- ・ 研修会等93回 参加職員延べ158名